



平成 27 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 エ ス ポ ア
代 表 者 名 代表取締役社長 石川 英樹
(コード番号 3260 名証セントレックス)
問 合 せ 先 管理部長 寺田 幸生
電 話 番 号 052-622-2220

継続企業の前提に関する注記についてのお知らせ

当社は、平成 27 年 4 月 30 日開催の臨時取締役会において、平成 27 年 2 月期決算短信における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することといたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、前事業年度まで 3 事業年度連続して経常損失及び当期純損失を計上している状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しておりました。

当事業年度におきましては営業利益 192,459 千円、経常利益 36,360 千円及び当期純利益 32,530 千円を計上し黒字化を達成致しました。

しかしながら、当社は現在も安定的な収益を生み出す経営体質への転換途上にあり、手元資金残高に比して短期及び 1 年以内返済予定長期借入金残高は多額となっております。このため、各借入先とは元本返済期限の延長について協議を行っております。

また、当社不動産事業の推進者であり、且つ大口借入先である株式会社ゲオホールディングスに対して強い人的関係を有し、借入金の安定化に注力してまいりました代表取締役石川英樹は、平成 27 年 5 月 28 日開催予定の定時株主総会の終結の時をもって任期満了で退任する予定であります。

このような状況により、当社は継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社は、当該事象を解消するため、引き続きキャッシュ・フローを重視した経営改善を目指すとともに、長期的な資金の安定化に向けて事業活動を行ってまいります。

今後の事業活動におきましては、以下の対応を進めてまいります。

① 安定的収益基盤の確立

(賃貸・管理事業)

安定した収益が見込める賃貸・管理事業については、テナントリーシングの強化及びコスト管理の徹底により、収益基盤をさらに強化・拡充してまいります。

(開発・販売事業)

開発・販売事業については、「宅地販売」のみならず建物を付加した「建売販売」を強化することにより、販路拡大ならびに収益向上を図ってまいります。

② 財務体質の健全化

①の施策により売上高の更なる拡大とコストダウンの徹底を図り、継続して黒字を達成するよう事業活動を実施します。また、各借入先と借入金の返済条件の見直し協議を行い、資金繰りの安定化、財務体質の健全化に努めてまいります。

当社の主要株主であるストーク株式会社から平成 28 年 2 月 29 日に返済期日を迎える借入金残高 1,100 百万円について、平成 27 年 3 月 23 日付で返済期日を平成 30 年 2 月 28 日に延長することに関して合意を得ているとともに、株式会社ゲオホールディングス等からも返済期日延長の条件変更の合意を得ております。

上記の対応に加えて、借入先に対しては適時に当社の経営成績及び財政状態を報告し、理解を得ることによって良好な関係を築き、資金調達や資金繰りの一層の安定化に努めております。

③ 経営者の退任

当社の経営に重要な影響を与えております代表取締役石川英樹は、上記のとおり任期満了による退任が予定されておりますが、主要株主の協力を得て不動産案件の確保や不動産運用の経験者を役員として受け入れることを予定しております。

当社は、上記対応策を進めてまいります。今後の借入金返済に関しては各借入先との合意形成が必要となります。

これらの計画が計画通り進捗しない可能性もあり、現時点では、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映しておりません。

以上